SMILE HEART

［スマイルハート］ No. 12

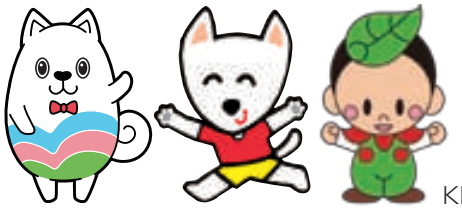
情熱あふれる産地づくりを目指して

March 2015 3

特集

梅林まつり・梅産地ＰＲ！

JA紀州



KKG3

紀州農語り

こだわりの作物づくりで
未来へ続く農業を目指す!!

今回ご紹介の作物 **【花き類】**

印南町津井

池田　晃（あきら）さん（48才）

スターチス、カスミソウ合わせて 80a、葉菜類、梅、小玉スイカなどを、父母・奥さんと栽培しています。現在、みなべいなみ花き部会の部会長を務めています。

日本農業賞 全国優秀賞を受賞！

ＪＡ紀州みなべいなみ花き部会は部会員96人、スターチス、カスミソウ、スィートピー、千両など各専門部に分かれ、それぞれの栽培に取り組んでいます。

今年、第44回日本農業賞　集団組織の部で、同部会は全国優秀賞を受賞しました。日本農業賞は、意欲的に経営や技術の改善に取り組み、地域社会の発展にも貢献している農業者、集団組織を表彰するものです。

部会長を務める晃さんは受賞にあたり「自分たちが取り組んできたことが評価されて嬉しい。部会を作った先輩方、部会を一緒に盛り上げてくれる仲間たち、そして豊かな風土に感謝したい」と話します。

全国で評価されたみなべいなみ花き部会の取り組み

部会では、花の品質、鮮度、日持ちにこだわり、さらに環境を配慮した栽培に取り組んでいます。10年ほど前から、ＥＬＦ（エルフ）バケットシステム（湿式輸送流通システム）を使用した出荷方法を採用しています。段ボール出荷に比べ輸送コストはかかるものの、バケットは繰り返し使うことができるため環境に優しく、鮮度が保てることから市場からも高い評価を得ています。また農家個々の作業の中で、バケットを使用することで花へのストレス軽減と、作業の効率化にも繋がっています。試行錯誤を重ねて現在の方法にたどり着き、時期や品目に合わせ、ＥＬＦバケットと段ボール出荷を使い分けています。

栽培管理面でも、専門部ごとに定期的に園地を周り、生育状況や問題点などを確認し、部員相互で栽培技術の向上に努めています。

未来へ続く部会に！

晃さん自身が栽培で気をつけていることは、潅水と施肥を適期に行うことや、遅れずに採花することなどです。「苦労もあるけど、農業が楽しくなってきた」と笑顔で話し、今後の抱負については「部会全体が、ほかの産地に負けない高いレベルの意識をもって、消費者や市場のニーズに応えるために栽培に取り組んでいる。未来へ続く部会となるよう、農業に対し誠実に、これからも努力していきたい」と語ってくれました。

SMILE HEART Contents 2015. March

紀州農語り……2
特集……4
梅林まつり・梅産地ＰＲ！
農業改革をめぐる情勢について
トピックス……8
あぐりガイド……12
ＬＡ紹介……17
インフォメーション……18
読者の広場・表紙紹介……19
ＪＡ紀州クッキング……20

梅林まつり

南部梅林 岩代大梅林

管内のみなべ町では2月、観梅シーズンを迎え、県内外から多くの観光客が訪れました。

南部梅林は1月24日～3月8日、岩代大梅林は2月1日～3月1日まで開園され、たくさんのイベントで賑わいました。

▲梅供養祭に参加する久保 秀夫組合長

梅酒コレクション▶

◀梅ジュース作り体験

◀もちつき

梅供養祭

『一目百万、香り十里』と称される南部梅林では2月11日、「梅まつり並びに内中 源藏翁遺徳追悼慰霊祭」が行われました。梅栽培・加工の先駆者である内中 源藏翁の遺徳をしのぶ梅供養祭は今回で第50回目となり、関係者約80人が出席しました。

2月12日、JA紀州は梅ジュース作り体験コーナーを設置。みなべ町の梅農家で結成した梅の消費宣伝隊『梅愛隊』のメンバーがジュース作りの講師を務めました。

『日本一の大パノラマ』がキャッチフレーズの岩代大梅林でも、もちつき、獅子舞、ゆるキャラ大集合、県内出身歌手によるコンサート、夜にはライトアップされた梅の花を楽しむことができる「夜梅祭」など、様々なイベントが行われました。

今年は両梅園とも、開花が例年よりも遅めでしたが、2月に入ってからは暖かい日が続き、開花も順調に進みました。

みなべ町、田辺市では、「みなべ・田辺の梅システム」の世界農業遺産登録を目指し、PRに取り組んでいます。

梅干し入りおにぎりで ギネス世界記録達成！

2月15日、梅干入りおにぎりを握る人数でギネス世界記録に挑戦するイベントが、みなべ町の上南部小学校体育館で行われました。

みなべ町では昨年の10月から「梅干しでおにぎり条例」が施行されており、町をあげて梅の町をPRしています。

県内外から432人が参加し、428人が条件に合ったおにぎりを作ることに成功し、見事ギネス世界記録に認定されました。

世界で初めてとなる「梅干し入りおにぎりを握る人数」のギネス記録の達成は、新聞、テレビなど各メディアに大きく取り上げられました。

世界記録認定の条件！

250人以上が参加し、参加者の95%が成功すること
100グラム以上のご飯と、梅干しを1粒使う
丸型に握り、形が崩れてはいけない
おにぎりから梅干しがはみ出してはいけない
人の手助けをしてはならない
制限時間　5分

▲ギネス挑戦に先駆け、2月11日の梅まつりで仁坂 吉伸知事もおにぎり作りに挑戦。梅干し入りおにぎりを推奨しています。

▲認定証を受け取る小谷 芳正みなべ町長

梅産地PR!!

ふるさと祭り 東京

1月9日から18日の10日間にかけ、東京ドームで行われた「ふるさと祭り東京」にJA紀州 加工直販課が出店し、1万2,700個の梅干しを販売しました。当JAオリジナル商品『tomato-ume』は、昨年度「魅力ある日本のおみやげコンテスト」飲料・食品部門（140点）の中でグランプリを受賞した効果もあり、リピーターも多く、梅、ミニトマトなど産地のPRに取り組みました。また、毎週定期的に紀の川サービスエリア（上り線）で梅干しを宣伝販売し、消費拡大に取り組んでいます。

直売所利用会 観梅イベント

2月7日、直売所利用会は、ほんまもんふるさと産地直売所前で観梅イベントを行いました。梅おにぎり約700個、ウスイエンドウ入りの茶粥約500杯を、来店いただいたお客様に無料でふるまいました。JAの梅干しや、同会の会員提供の漬物も一緒に堪能していただきました。

農協改革をめぐる情勢について

農協改革をめぐる政府・与党の動き

2013年

9月10日	規制改革会議農業WGが初会合 ⇒「農業者・消費者に貢献する農協の在り方」が検討項目に
25日	自民党「新農政における農協の役割を考える勉強会」が初会合
11月21日	農業WGが「今後の農業改革の方向について」を決定 ⇒具体的な規制改革項目は翌年6月末までに

JAの「事業・組織の在り方」の見直しを提起

2014年

1月22日	安倍首相が「既得権益の岩盤を打ち破るドリルになる」と発言
2月21日	規制改革農業WGでJAをめぐる議論再開 ⇒4月にかけ、JAや全国連などからヒアリング
3月14日	自民党「新農政における農協の役割に関する検討PT」が初会合
5月14日	農業WGが「農業改革に関する意見」発表 ⇒「農協解体」として政府・与党で大議論
6月10日	自民、公明両党が「与党とりまとめ」を決定 ⇒農林幹部の連日の議論で急進案を押返す
24日	規制改革実施計画を閣議決定 ⇒安倍首相「農協法に基づく現行の中央会制度は存続しない」と発言
11月6日	JAグループが「自己改革」の具体策を決定
7日	西川農相がJAグループ自己改革に「（政府と）ずれがある」と発言
12日	農業WGが「農業協同組合の見直しに関する意見」発表
25日	自民党が衆院選公約を発表 ⇒農協改革は「議論深める」
27日	公明党が衆院選公約を発表 ⇒農協改革はJAの自己改革尊重

・中央会制度の廃止
・准組合員の利用量は正組合員の2分の1以下に制限
・全農の株式会社化など

・中央会は自律的新たな制度へ
・准組合員規制はルールを導入
・全農の株式会社化は選択制

・全中監査の義務付け廃止
・中央会は一般社団法人へ
・准組規制の早期導入を

2015年

1月6日	西川農相が全中監査の義務付け廃止の意向を表明
16日	安倍首相が「中央会は脇役に徹していただきたい」と発言
20日	自民党農協改革等法案検討PTが初会合
21日	公明党農林水産業活性化調査会などで農協改革議論開始
2月9日	政府・自民党、JA全中が「農協改革の骨格」に合意
10日	規制改革農業WG ⇒新たな監査体制についても引き続き注視していく考えを表明

・全中の監査部門を分離
・全中は社団法人化も農協法の付則で役割を位置づけ

（2月20日付け日本農業新聞より）

「農協改革の骨格」定まる

首相官邸や規制改革会議が急進的な改革を迫るなか、JAグループでは自己改革案をとりまとめ、その実現に向け与党等に対し強力に働きかけを行ってきましたが、政府・与党と協議を重ね、「農協改革の骨格」について合意するに至りました。

～農協改革をめぐる経過～

２０１３年９月に規制改革会議の農業ワーキンググループ（WG）の初会合が開催され、今後の検討項目として「農業者・消費者に貢献する農協の在り方」を掲げました。

2014年5月WGが**中央会制度の廃止、全農の株式会社化、准組合員の事業利用を正組合員の２分の１に規制する**といった急進的な内容の「農業改革に関する意見」を発表、議論が急展開しました。

WGが急進的改革案を示した以降は、自民党農林幹部による「インナー会議」が連日開催され、首相官邸等との調整を経て、「与党とりまとめ」がなされ、６月にはその内容を盛り込んだ規制改革実施計画が閣議決定されました。

政府・与党が求める「農協改革」の方向は、農業・農村の実態を踏まえない**市場原理に基づく急進的な内容**であるばかりか、全農の株式会社化等は**協同組合の根幹である農家組合員の共同行為の否定**にもつながりかねません。

また、農業と地域の両方に軸足を置くのではなく農業者の協同組合（**職能組合**）**に純化すべき**ではないか、総合事業を展開するのではなく信用事業を譲渡すべきではないかといった、これまでのＪＡの取組みを無視した組織・事業の根幹に係わる改革方向が提起されています。その背景には**ＴＰＰ交渉の促進**や、郵政改革同様、ＪＡグループが保有する**貯金や共済の米国金融界への解放や財界の事業拡大に向けた思惑**等の狙いも見え隠れします。

過去のＪＡ大会でも確認してきたとおり、**ＪＡは「食と農を基軸とした地域に根ざした協同組合」です。**

ＪＡグループ和歌山

このため、本県農業の特性を踏まえた営農経済事業のあり方のほか、中央会制度・監査のあり方など本県ＪＡグループの今後の基本方向については、１１月に開催を予定している第２８回和歌山県ＪＡ大会の議案づくりの過程で十分な組織協議を行い具体化し、ＪＡ大会での決議を経てその実践に取組みます。

一方、農協改革の攻防のなかで、将来にわたり准組合員が安定的にＪＡ事業を利用できるよう、**第８条の農協の事業目的に「地域振興に関する目的」を明記**するよう求めてきましたが、骨格ではその旨が反映されておらず、**ＪＡの理事構成についても「各地域の実情に沿った柔軟なものにすべき」**との主張も反映されていません。

このため、今後、政府・与党等で行われる法案作成過程において、ＪＡグループの主張が反映されるよう引き続き働きかけを継続する必要があります。

また特に、**准組合員の利用量規制のあり方**については、**「５年間の利用実態や農協改革の実行状況の調査を行い決定する」**とされており、規制改革会議等から議論を蒸し返される恐れがあり、自己改革に全力で取組むとともに、地域においてＪＡが果たしている役割について、組合員はもとより地域住民等の理解を深める取組みの一層の強化が必要です。

農協改革の骨格（ポイント）

准組合員の利用量規制
- ●導入を見送り
- ●５年間正組合員および准組合員の利用実態ならびに農協改革の実行状況の調査を行い、慎重に決定する

農協の理事構成
- ●理事の過半数を原則として認定農業者や農産物販売・経営のプロとすることを求める

農協の事業目的（第８条）
- ●農業者の利益の増進を図らねばならない等に改正

農協の監査
- ●公認会計士による会計監査を義務付け
- ●全中の監査部門を外だしし、公認会計士法に基づく監査法人を新設（一般の監査法人との「選択制」に）

中央会制度
- ●都道府県中央会は農協法上の「連合会」に
- ●全中は一般社団法人化（農協法の附則で役割を位置付け）

また、**自主・自立の協同組合であるＪＡグループの改革は組合員の意思による自己改革が基本**であり、各県域での議論等も踏まえ、全中会長の諮問機関である「総合審議会」等を中心に自己改革案をとりまとめました。

本県でも検討委員会を設置し、全国段階と併行的に検討を進め、自己改革案のとりまとめへの意思反映に努めるとともに、果樹園芸を主体とする本県農業の特性を踏まえた営農経済事業のあり方について検討を進めました。

自己改革の基本的な考え方

「農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化を基本目標に、多様な農業者のニーズに応え、担い手をサポートし、総合事業の展開により、農業者ならびに地域住民と一体となって「持続可能な農業」と「豊かで暮らしやすい地域社会」の実現をめざします。

政府等との攻防～苦渋の決断へ

ＪＡグループが自己改革案をとりまとめた翌日には西川農相が「（政府の考えと）ずれがある」と指摘。WGも全中監査の義務付け廃止や准組合員規制の早期導入など、６月の与党とりまとめを逸脱する内容の意見を発表するなど、農協改革をめぐる情勢が一段と厳しさを増しました。

ＪＡグループでは、自己改革の実現に向け、与党や各市町村の首長・議会への要請・請願活動等働きかけを行い、理解を求めました。

１月下旬から開催された与党の関係会合等では、多くの議員から、現場の思いを汲んだ慎重な意見がだされましたが、２月に入って「インナー会議」が政府とＪＡ側と最終調整を行い、**全中の監査部門の分離や全中の一般社団法人化**が進められることとなりましたが、**准組合員の利用量規制は導入を見送る**こととされたため、大幅に譲歩し苦渋の決断により「農協改革の骨格」について合意しました。

自己改革の実現へ（今後の取組み）

今回の農協改革は、官邸主導のなかで進められ、「改革のための改革」ではないのかなどの思いが強く残るなかでの合意となりました。

この決断が、真に「農業所得の向上、地域の活性化」に結びつくよう、自己改革の実現に全力で取組む必要があります。

※農協改革をめぐる情勢、自己改革の内容等はJAグループ和歌山のホームページ（http://www.ja-gp-wakayama.or.jp/）に掲載しています。

牡羊座 3/21～4/19
【全体運】何事にも意欲的に取り組めます。やってみたかったことを始めれば、思った以上の好結果に。お花見にもつき
【健康運】運動不足解消も兼ね屋外に出掛けると吉　【幸運を呼ぶ食べ物】ウド
4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

青梅販売市場担当者産地研修会

梅への理解を深め、販売拡大に繋げる！

2月17・18日、営農対策部では、市場15社の青梅販売担当者を対象とした産地研修会を開きました。市場担当者は実際に梅ジュース作り体験や、梅ジュース・梅ジャムの試飲食をして、産地からは産地の取り組み等を説明し、梅への理解を深めて頂きました。続いて、みなべいなみ梅部会、梅愛隊との意見交換を行い、都市部での消費拡大に向けた取り組みや、消費宣伝活動などについて話しました。

また梅園地を視察し、産地状況を確認して頂きました。

大地の恵み・心から感謝 日高川農業祭

2月8日、日高川町では第9回農業祭が開かれ、JAから女性会川辺ブロック、産直部会が参加しました。女性会は豚汁、産直部会はポン菓子、コーヒーを無料で提供。販売コーナーではサバの早寿司1000本も午前中に完売するなど、雨にもかかわらず多くの人で賑わいました。

Aコープ5店舗合同 節分 豆まきイベント！

2月3日の節分の日に、Aコープ全5店舗（かわべ・ひだか・ゆら・みなべ・いなみ）で、豆まきイベントを行いました。豆のほか、菓子類、うどんなど、当日限りのお買いもの割引券を各店舗800枚ずつ張り付けてまきました。

各店舗とも、多くのお客様で賑わい、ゆら店では職員が鬼や戦隊レンジャーの姿にふんして、イベントを盛り上げました。

▲かわべ店

◀ゆら店

梅予冷施設、稲原梅集出荷場 竣工式

▲テープカットの様子

1月31日、梅予冷庫施設、稲原梅集出荷場の竣工式を行いました。久保 秀夫組合長は、「梅の一大産地として、予冷施設は出荷ピーク時の調整や品質保持に無くてはならない施設。稲原地域の集出荷施設は老朽化が激しく、改善の必要に迫られていた。施設・建物の建設により、地域の梅の品質向上はもちろんのこと、『日本で一番元気で魅力ある梅の産地』となることを確信している」と式辞を述べました。

式後、稲原梅集出荷場では農機の展示会などを行いました。もちまきにも沢山の地域の方々が参加してくれました。

もちまき▶

牡牛座 4/20~5/20
【全体運】縁の下の力持ち的な役割が増えるかも。でも、ポジティブに捉え、力を尽くすのが正解。気晴らしには温泉へGO
【健康運】疲れをため込みやすい時期。休息が必要 【幸運を呼ぶ食べ物】カブ

4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

トピックス

地域の農産物を知って！小中学校などに豆・ミニトマト贈呈

みなべいなみ豆部会、みなべいなみミニトマト部会が合同で、ウスイエンドウ41kg、キヌサヤ20kg、ミニトマト優糖星（ゆうとうせい）60kgを、印南町内の保育園1園と小中学校全8校に贈呈しました。1月27日～29日のうち、各学校で給食に使われました。

▶1月27日 印南小学校では『豆ごはん』が給食に並びました

愛情を込めた大根は美味しい！収穫＆料理教室

1月30日、御坊幼稚園児は9月末に播種した袋栽培の大根を収穫しました。料理教室では大根入りのクリームシチュー、梅干入りおにぎりをJA女性会員と一緒に作りました。昼食前には紙芝居を読み、好き嫌いなく食事をしようと呼びかけました。

また2月9日、大根を栽培していた袋に追肥してジャガイモを植えました。春に収穫し、カレーライスを作る予定です。

KKG3覚えてね JAマスコットのクリアファイルとシールを贈呈

管内の幼稚園、保育園全32園の全園児に、JA紀州のマスコットキャラクターを知って、ファンになってもらうため、KKG3（ケーケージースリー）（きぃぽん、きちゅうくん、グーリーちゃんで結成するJA紀州応援隊）のクリアファイルとシールをプレゼントしました。

▲上南部保育所

「世界の子どもたちにワクチンを」エコキャップ運動

管内の幼稚園、保育園の園児らが1年かけて集めてくれたペットボトルのキャップを回収しました。JA紀州合併以前の旧JA紀州中央が始めたキャップ回収運動は今年で6年目。平成27年1月末で累計272万個を回収し、ワクチン3,265人分の提供と20,570キロのCO_2削減に協力しました。

協力園：御坊幼稚園・御坊はこぶね幼稚園・つばさ保育園・わかば保育園・愛徳幼稚園・いなみこども園

▲つばさ保育園

ジュニア駅伝競走大会

2月15日、JAグループ和歌山も協賛・支援する第14回和歌山県市町村対抗ジュニア駅伝競走大会が行われました。大会前、JA紀州から選手全員にマフラータオルを贈呈しました。大会結果は以下の通りです。

御坊市…5位、日高川町…10位、印南町…12位、みなべ町…15位、日高町…17位、美浜町…18位、由良町…25位

▲御坊市チーム

新たな挑戦 スターチスをブライダルに！

東京の大田花き市場で、中央販売課花き部会、青年部、市場合同企画でスターチスを使ったブライダルアレンジコンテストを行い、1月16日から22日まで展示しました。

スターチスは仏花としてのイメージが強いですが、新たなフライダル商材としてアピールしています。

▲華やかな作品が数多く並びました

双子座 5/21～6/21
【全体運】対人運が華やぐ兆し。特に共通の趣味や楽しみを持つ仲間たちと親交を深められそう。メール交換も良い刺激に
【健康運】生活習慣を見直すチャンス。体調改善へ　【幸運を呼ぶ食べ物】キクラゲ

JA女性組織仲間づくり旅行 ハワイ5日間の旅に22人参加！

和歌山県JA女性組織連絡会は、親睦を深めるハワイ旅行を実施しました。JA紀州女性会員22人が1月24日から28日の旅程に参加しました。

レイメイキング、島内観光や買い物など、ハワイ島を楽しみました。

▲レイ（花かんむり）メイキング

◀フラダンスやじゃんけん大会で盛り上がった仲間づくりパーティー

●御坊南ブロック 名田・塩谷支部

1月22日、新年会を開き、会員同士の親睦を深めました。

●フレッシュミズ 交流会

2月12日、管内のフレッシュミズ会員の交流を深めるためチョコレートケーキ作りを行いました。

●みなべブロック 知多半島で視察研修

2月4･5日、会員30人が愛知県のJAあいち知多へ、視察研修旅行に訪れました。常滑焼体験や、白だし工場を見学し、JA直営所「げんきの郷」を視察しました。

●いなみブロック 遊花サークル

2月16、23日の2日間で、春らしい作品を作り上げました。

●御坊北ブロック 湯川支部 会議

2月24日、小松原地区で会議を開き、今後の活動等について意見を出し合いました。

●みなべブロック サークル発表会

2月13日、みなべ町のふれあいセンターで、サークル発表会を行いました。踊りサークルは笑いをさそう踊りを披露。スコップ三味線サークルは家の光大会でも披露した「一円玉の旅がらす」を演奏。また遊花サークルのアレンジ作品展示や、料理サークルは梅を使った料理など全6品を参加者に振る舞いました。

踊り発表に、会場からは笑いがわきおこりました ▶

◀梅びしおを使った巻き寿司など、料理は参加者に大好評

春らしいアレンジが並び、会場に彩りを添えました ▶

蟹座 6/22～7/22
【全体運】自分の考えにこだわりがち。柔軟な発想を心掛けて。クロゼットの中の荷物を整理することで開運の呼び水に
【健康運】姿勢を矯正すると、健康体に近付けそう 【幸運を呼ぶ食べ物】ワケギ

4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

輝く女性に! 女性大学 第1回 "Venus(ヴィーナス)"

開講式＆ヤブシンによるミニLIVE de うっとりランチ♪

2月18日、JA紀州女性大学『Venus(ヴィーナス)』開講式をがいなポートで行いました。管内の子育て中の主婦など20人が入学しました。JAを知りJAのファンになってもらうことや、全7回の講義を通じて、仲間作りや自分のやりたいことを見つけてもらうことを目的としています。

第1回は、JA各部署から事業説明等を聴講した後、塩屋町のカッシー・デ・フルッティに移動してランチを食べ、「ヤブシン」(由良町出身の藪下 将人さん、兵庫県出身の藍田 真一さんのユニット)のミニライブを楽しみました。

入学生の一人は「大阪から嫁いできて、友達の輪を広げたいと思い参加しました」と期待をふくまらせました。

▲久保 秀夫組合長からあいさつ

▲「ヤブシン」の素敵な歌と軽快なトークに会場も盛り上がりました

▲サングリア(ノンアルコール)で乾杯♪

トピックス 職場 Topics

由良支店　堀内・木戸組が優勝！ JAバンク　窓口セールスロールプレイング大会

2月14日、和歌山市民会館大ホールで第3回JAバンク窓口セールスロールプレイング大会が開かれました。県内各JAから選抜された窓口担当者2人が、日頃の実践に加え業務終了後の練習の成果を如何なく発揮しました。当JAからは由良支店の堀内 友里加さん、木戸 万里子さんが出場し、見事優勝しました。

獅子座 7/23~8/22
【全体運】視野を一気に広げられそう。試したことがないジャンルにも興味を持ってみて。ウォーキングも楽しめるはず
【健康運】栄養バランスの取れた食事が好運の鍵 【幸運を呼ぶ食べ物】ミツバ

あぐりガイド

果樹

うめ

梅園管理について

3月からは、防除期です。農薬の使用基準は厳守しましょう。農薬散布後は、すみやかに防除履歴への入力(記入)をお願いします。

梅の防除について

みつばち回収終了後、幼果が見える前まで

かいよう病
Zボルドー 500倍（葉芽発芽前）
クレフノン 200倍
又は
ICボルドー66D 50倍（葉芽発芽前）
アブラムシ類
モスピラン顆粒水溶剤 4,000倍（前日／3回）
＊銅剤は幼果が見えていれば、薬害の可能性がありますので使用しないで下さい。
＊灰色かび病多発園では、ロブラール水和剤 1,500倍 45日前／2回を散布して下さい。

発芽期

かいよう病
マイコシールド 1,500倍(21日前／4回)
黒星病
デランフロアブル 2,000倍（45日前／1回）
又は
黒星病・うどんこ病・灰色かび病
ストロビードライフロアブル 2,000倍（7日前／3回）

幼果期

かいよう病
マイコシールド 1,500倍(21日前／4回)
黒星病
ペンコゼブフロアブル 1,000倍（21日前／3回）
又は
水和硫黄剤 500倍

かいよう病について

かいよう病菌は、気温12～13℃以上で増加し、強風雨があれば特に発生が多くなります。

マイシン剤の効力は7日間程度と短いため、降雨前の散布を心掛けて下さい。

かいよう病の防除で最も効果の高いのは、防風ネットや防風垣の設置です。

カイガラムシの多発園

タマカタカイガラムシの多発園（黒色の粒状の虫が枝裏に付着）やウメシロカイガラムシ多発園は、4月中下旬に手散布でアプロードフロアブル 1,000倍・収穫7日前を散布して下さい。

ハダニ多発園（4月上中旬）

スプリンクラー防除の場合はニッソラン水和剤 3,000倍・収穫7日前を散布して下さい。

ハダニは抵抗性がつきやすいため、多発園以外はできるだけ散布しないで下さい。

ホウ素供給

4月上旬～5月上旬まで、ホウ素供給として葉面散布剤（ヨーヒB5・プラムエース）800倍を数回散布して下さい。

薬害について

梅は単用散布でも品種・散布時の気温・天候・果実の熟度等により薬害が発生する場合があります。

実肥の施用（4月上旬）

施肥名・量については、各営農指導センターにお問い合わせ下さい。

スカシバコンレを設置しましょう!!

40本～100本／10a

県うめ研究所・JAでは、平成21年より試験を実施し、防除効果も確認しています。

乙女座 8/23～9/22 【全体運】あれこれ考え過ぎてしまう傾向がチラリ。意識的にポジティブシンキングを。アロママッサージもお勧めです
【健康運】スポーツを楽しめる月。ぜひ腕を磨いて 【幸運を呼ぶ食べ物】しらす
4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

10ａあたり50本を厳守し、地域全体でコスカシバから梅産地を守りましょう。これ以上、被害を拡大させないためには、農家1人1人の設置が重要です。産地全体の設置で効果が高まりますので、皆さんのご協力をお願いします。

被害のひどい園では、フェニックスフロアブル　200倍を開花期までに散布して下さい。

柑橘類

剪定

本年は表年に当たりますが、ここ近年は同一園地内における樹のばらつきが多くなっていますので、樹が豊作型か不作型かを見極めて剪定方法を変えなければなりません。

豊作型の樹では、間引き剪定を行いながら春枝の量を調節し、同時に新梢の発生を促進させて下さい。

不作型の樹では、できるだけ昨年発生した春枝を残して、混み合った部分の枝のみ剪定して下さい。無理に剪定をする必要はありません。

基本的には①樹高を下げる②主枝との競合枝を間引く③内向枝、立ち枝、下垂枝を除く④枯れ枝の除去を行って下さい。

春肥の施用と春草の除去

春肥は、開花結実や新梢伸長などを促進させるのに重要ですので、柑橘類施肥基準を参考に施肥して下さい。また、地温の上昇にともない雑草も多くなってきますので除草して下さい。

病害虫の防除

12月～1月にマシン油を散布していない園では、3月中下旬に80倍で散布して下さい。この時期の散布はミカンハダニやサビダニの密度を下げる効果があります。また、収穫し終えた中晩柑類より、かいよう病の防除としてＩＣボルドー６６Ｄを50倍で散布して下さい。マシン油との散布間隔は約2週間です。

苗木の植え付け

植え付けの際は、深植えにならないように、接木部分を必ず上に出して下さい。また同時に、活着を促進するため枝の切り返しと潅水を行って下さい。

野菜

小玉スイカ

まもなく3月定植トンネル栽培では定植時期となり、2月定植ハウス栽培では交配期となります。一斉着果を目指すスイカ栽培において、交配期の温度管理、草勢管理は栽培期間中で最も大切な作業となりますので、再度栽培ポイントを確認して栽培管理に努めて下さい。

定植作業から整枝作業までの栽培管理については、スマイルハート2月号をご覧下さい。

交配前～交配、着果

交配前のツル引き、整枝

①ツル引き時には、各ツルの草勢に勝ち負けが出来ないように、ツル先の位置を出来る限り揃え、またツル間を均等にとるなど、各ツルに光が良く当たるように行いましょう。

②ツル引きのタイミングは草勢により調整します。

草勢とツル引きのタイミング

草勢	ツルを引くタイミング
弱い場合	交配前７日前後
普通	交配前５日前後
強い場合	交配前３日前後

※草勢が非常に強く、スムーズな交配が難しい場合、草勢調整を行うため、交配前の葉面散布剤使用を検討する必要があります。ご使用の際は、各営農指導センターまでご相談下さい。

天秤座 9/23～10/23 【全体運】美的センスに磨きをかけられる期間。習い事や趣味に力を注げば、充実感を味わえそう。イメチェンにも最適
【健康運】運動不足に注意を。まめに動く必要あり 【幸運を呼ぶ食べ物】蜂蜜

交配前の温度管理

交配の3日前頃からは、夜温の確保に努め雄花の充実を促しましょう。温度確保のポイントは、夕方ハウス（トンネル等）を早めに閉め、閉めた後にハウス（トンネル等）内の温度が少し上昇する程度を目安に管理しましょう。

交配期目標確保夜温：15℃以上

交配作業

①整枝本数と交配節位

・5本整枝　4果着果→20節前後の4番果を中心に一斉着果を狙いましょう。

・4本整枝　3果着果→15節前後の3番花を中心に一斉着果を狙いましょう。

②交配が上手くいかず、着果がばらついた時には、再度ツルを引き直し、次の花で再度一斉着果を狙いましょう。着果がばらつくと変形果や裂果、ツメ入り果の発生原因となります。

ミツバチ交配の注意点

毎年、交配用に貸し出しして頂いているミツバチの死亡率が高く問題となっています。再度、使用方法や栽培管理等を確認し、適正使用に努めて下さい。

確認事項1

定植時に植え穴へモスピラン粒剤を使用して下さい。モスピラン粒剤以外を使用している方は、ミツバチの使用は絶対にしないで下さい。

確認事項2

交配用ミツバチは、交配数日前から余裕を持って圃場に設置しましょう。

確認事項3

トンネル栽培では、必ずトンネルの両端に穴を開け、ミツバチの逃げ穴を作って下さい。

確認事項4

交配期間中は、ハウスやトンネルを閉め切らなくても、ミツバチは逃げずに交配作業を行います。ミツバチを逃がさないようにと閉め切ることにより、ハウス内やトンネル内が過度な高温となり、ミツバチの体力を消耗させ、交配作業を行わなくなります。

着果～初期肥大期

着果棒立て

着果棒を立てる間隔は3日です。必ず決められた日に、決められた大きさ、決められた色棒で立て、棒立て終了次第ＪＡへ報告して下さい。みなべいなみスイカ部会の方については、パソコン又はＯＣＲ用紙でＪＡへ報告をお願いします。

初期肥大期の栽培管理

①摘果は、果実が鶏卵大の大きさになるまでに行い、果実の初期肥大を促しましょう。

②着果後2週間は、ハウス内やトンネル内の温度管理は、30℃前後のやや高めを心掛けましょう。但し、極端な高温は、果実や葉、ツルが日焼けする場合がありますので注意して下さい。

③潅水は、草勢を確認しながら数回実施し、初期肥大を促しましょう。但し、一度に極端な多量の潅水は、裂果やツメ入り果の発生に繋がりますので注意して下さい。潅水量は、1回目は少なくし、徐々に潅水量を増やしていきましょう。

土ぶせ栽培の圃場準備

長雨やゲリラ豪雨対策として、通路や排水路を従来より広げて、その余った土で高畝にし、根域を確保して下さい。

ミニトマト

温度上昇に伴い、着色スピードや側枝の発生や草の伸びが速くなってきました。

その為この時期は、栽培管理が遅れ気味になりがちです。計画的に作業を進め、高品質果実生産に努めて下さい。

温度管理

日中のハウス内は高温となります。ミニトマトの最適温度は25度前後と言われており、35度を超えてくると花粉の発現能力低下や草勢の弱りが心配されます。

日々の天候にあわせ、ハウスの開閉具合を調節して下さい。

アイコ栽培では、日焼け予防の為、3月下旬頃より遮光（遮熱）ネット被覆を行って下さい。

但し、ネットは日々の天候にあわせ開閉し、ハウス内への光確保に努めて下さい。

蠍　座 10/24～11/22
【全体運】神経質になりやすいのが玉にきず。重箱の隅をつつくような言動は控え、どっしり構えて。気晴らしには読書を
【健康運】無理なダイエットはNG。自然体を大切に　【幸運を呼ぶ食べ物】ヒジキ
4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

灌水管理

温度の上昇に伴い、灌水量を増加させます。しかし一度に多量の灌水を行うと、色ムラ果や軟化果の発生に繋がります。

先月同様に、少量多回数灌水を心掛けて下さい。

病害虫防除

葉かび病やコナジラミ類の多発時期となりました。

作業遅れのないよう定期的に摘葉を行い、被害葉や害虫の卵を圃場外へ持ち出すと共に、予防的薬剤散布を実施して下さい。

ピーマン・ナス

灌水、追肥

気温の上昇に伴い、葉からの蒸散が盛んになります。また着果も多くなるため、灌水の間隔を短くし、液肥の量を増やすことも必要です。但しピーマンの追肥は、液肥を中心に行うと尻腐れの原因となりますので、置き肥えを中心に行って下さい。

整枝

早めに側枝の摘心や切り返しを行うと共に内向枝を整理して、側枝の吹きと果実の肥大を促進させて下さい。

ナスは、4月下旬からマルハナバチを入れる場合は、摘葉し光がよく当たるようにするなど、活動を良くするために準備して下さい。農薬についても、マルハナバチへの影響日数に気を付けて散布を行って下さい。

キュウリ

午後の温度が高いままだと徒長や病気の恐れがあるので、正午～午後3時までの温度を20℃～23℃まで落とし、天窓は18℃以下で閉めて下さい。

天候も良くなってくるので、細かく灌水を行い、晴天が続く時にはマルチをめくり、ホースで灌水するとさらに効果的です。また、通路も乾いてくれば少しずつ散水して下さい。

摘葉は1日1枚を目安に取り、摘心は節目が10cm以上の枝と芯先より3節までに開花していない枝、または放任中、次の枝芽が動き始まっている枝です。病害虫防除は、かっぱん病、うどんこ病、べと病、ミナミキイロアザミウマを主に予防散布して下さい。

ウスイ

霜の心配もなくなり、仕上げの整枝が行えるようになってきました。

気温が上昇し日照量も多くなり、今まで以上に枝が出てくるので不必要な細く伸びた枝は取り、光がよく当たるようにし、太い良い枝を重点的に残し、目安として1m当たり20～25本程度にして下さい。内部の枝を取り除くことによりムレ防止、病害虫発生の抑制にも繋がり、これからの整枝は品質にも大きく関わってくるので、不必要な枝の除去に努めて下さい。

病害虫防除は、うどんこ病、灰色かび病、ハモグリバエ（えかき虫）を主に予防散布を行って下さい。

一寸そらまめ

下段に着果したサヤが3cm程度になれば、それ以上伸ばして花を咲かせても収穫までは期待できないので、生長点の摘心を行って下さい。

また、各節に数サヤついていれば、1粒入りサヤ等を取り除き、3粒入りサヤを残すようにして下さい。

花き

7～8月咲き小菊

定植苗は白さび病などの病害虫のないもので、出来るだけ大きさの揃ったものを12～15㎝程度の株間で、日照の悪い所は広めにする等、圃場条件に合わせた植付けを行って下さい。

仕立て本数は基本3～4本程度で、ピンチは定植後10～14日位で行い、強い芽は他の芽の生育に影響しますので、出来るだけ揃った芽を残すように行って下さい。

スイートピー

温度、湿度とも高くなってきますので、ムレやシミの発生に注意してハウス内の換気に努めて下さい。

また、病害虫も発生しやすくなりますので、特にうどんこ病、アブラムシ類の発生に注意し初期防除に努めて下さい。

自家採種

交配の時期の目安

冬咲き系などの草勢の弱い系統は3月中旬～4月上旬、春咲き系は4月上旬～4月下旬を目安に、草勢を見ながら交配させて下さい。

草勢の調節

受粉後、結実するかどうかは草勢に左右されるため、2L級の切り花が切れている場合は潅水を控える等、草勢を少し弱めて下さい。

受粉

花粉はつぼみが着色した頃に出始め、花が完全に開花した頃には花粉の機能が失われていますので、適期を迎えたら午前中に蔓を揺すって受粉の手助けをしながら、こまめに受粉作業を繰り返して下さい。

管理

日中は換気を十分に行って温度の上昇を防ぎ、潅水不足は草勢の衰えを早めますので結実後は草勢を見ながら適度の潅水を行って下さい。

収穫

受粉から収穫までの日数は40～45日位で、サヤの色が黄色～褐色になったら収穫して下さい。風通しの良いところで十分に乾燥させて下さい。

保存

密閉できる容器に入れ、冷暗所で保存して下さい。

スターチス

日照量・温度が上昇し、開花ペースが早くなり、ブラシ（ガク）も退色し易くなりますので、切り遅れのないように採花を行って下さい。また、色あせの防止等、品質を保つため、防風ネットや遮光資材を利用して下さい。

切り花を続ける圃場では施肥、潅水管理を徹底し、病害虫の発生にも注意して下さい。

カスミ草

蒸し込み（内張り）を外す時は、出来るだけ曇天、雨天時に行い葉焼けに注意して行って下さい。

内張りを外した後、日中は生風に注意して、十分換気を行って下さい。

また、品物にならない下枝（ネットの高さ程度まで）は必ず整理して下さい。

病害虫（うどんこ病、スリップス、アブラムシ、ハモグリバエ類等）の発生に注意し、初期防除に努めて下さい。

平成26年度
確定申告はお済みですか？
消費税の申告もお早めに!

個人事業者の消費税及び地方消費税の確定申告	平成27年 **3月31日(火)** まで

（ライフアドバイザー）

LA紹介

すべての組合員・利用者皆様に
「愛されるJA共済」を提供します！
お気軽にご相談ください。

最終回

印南支店

松本　国和
☎090-5902-7505

弓倉　敦子
☎090-5902-7510

切目出張所

大地　貴章
☎090-5122-6695

岡本　光生
☎090-5122-6690

切目川出張所

玄素　寿豊
☎090-5902-7508

稲原出張所

玉置　光宏
☎090-5122-6708

梅の郷支店

西　隼人
☎090-6828-0554

水﨑　貴央
☎090-5902-7500

大江　洋史
☎090-6828-0533

古川　裕章
☎090-5122-6703

高城出張所

松井　清治
☎090-5902-7506

川口　明宏
☎090-6828-0543

南部出張所

中野　博史
☎090-5888-4309

星合　将臣
☎090-5122-6685

岩代出張所

上田　健志
☎090-3629-3252

水瓶座 1/20～2/18
【全体運】好奇心を生かしたい月。話題のレジャースポットや人気ショップに足を運んで。ネットサーフィンで情報収集を
【健康運】小さなけがにご用心。慎重に行動して　【幸運を呼ぶ食べ物】毛ガニ

つれもていこ〜よ 【JA紀の里発信】

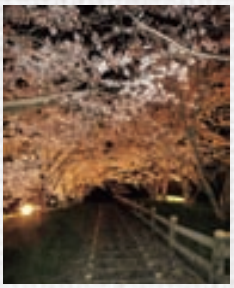
百合山遊歩道（ゆりやまゆうほどう）

百合山遊歩道は、紀の川市竹房にある新四国八十八ヶ所としての名勝地で、約３ｋｍの道のりがあります。四国八十八ヶ所を手軽に参拝できる霊場であり、百合山（最初ヶ峰）に安政４年（1857年）に開設されました。

春には桜が咲き誇り「百合山花まつり」が、秋には「百合山ウォークラリー」が開催され、モミジなどの紅葉の散策も楽しめます。

「歴史の道」と呼ばれるハイキングコースが人気で、弁当等を持って訪れる人で賑わい、百合山のふもとでは色とりどりのパラグライダーやハンググライダーが舞い降りる姿を見ることもできます。

また、標高 285 mの百合山々頂最初ヶ峰は 360 度眺望でき、古戦場跡を整備した展望台があります。眼下には紀ノ川の流れと紀ノ川平野が一望でき、夕陽 100 選にも選ばれた絶景の地です。



▲夜桜の回廊

【所在地】　紀の川市竹房
【交通アクセス】　国道 24 号鳥子橋東詰交差点から南へ５分
JR 打田駅から車で８分
京奈和自動車道　紀の川 IC から南へ８分
【問合わせ先】　紀の川市役所商工観光課　TEL0736-77-2511

平成26年度 第11回 理事会

日時：平成27年2月26日
場所：JA本店3階

○協議事項
（1）固定資産の取得について
（2）事業継続計画の制定について
（3）余裕金運用規程の改正について
（4）出資の減口について
（5）農業委員会委員の推薦について
（6）平成26年度中央会期中Ｉ監査指摘事項に対する回答書について

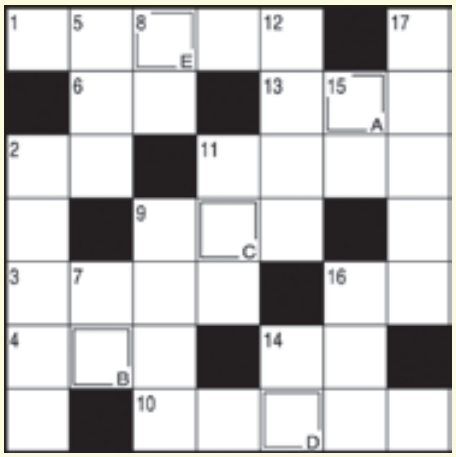
○報告事項
①購買特殊取引取扱要領の改正について
②コンプライアンス委員会報告について
③全国版余裕金運用自主ルールの改正について
④ＪＡ紀州安全安心推進本部の設立について
⑤水稲苗価格の変更について

頭の体操 information

クロスワードパズル

二重マスの文字をＡ～Ｅの順に並べてできる言葉はなあに？

出題●ニコリ



■タテのカギ
② 銭湯の服を脱ぎ着する所
⑤ 函館、神戸、長崎は美しいことで有名
⑦ 天ぷらを――に付けて食べた
⑧ 牛や馬がはみます
⑨ 電球をねじ込みます
⑪ ぴったり息が合うことを――の呼吸といいます
⑫ 履き物を入れておく家具
⑭ たるにはめます
⑮ レバーと炒めたりギョーザに入れたりする葉野菜
⑯ 押したり引いたりして開けます
⑰ ぺちゃくちゃと楽しむもの

■ヨコのカギ
① 漢字では石榴花、石南花などと書く花
② 自動車を数えるときに使う言葉
③ 百聞は――に如（し）かず
④ 火遁（かとん）の――を使う忍者
⑥ お坊さんが着ます
⑨ 商品などをしまっておく建物
⑩ 伏見――や万願寺――はブランド京野菜に指定されている――です
⑪ 粗末な家のこと
⑬ 田んぼや池にすむ巻き貝
⑭ 和装の際の靴下？
⑯ 体には羽毛が生えています

■応募方法
右記の記入例を参考にはがき、またはFAX（0738-32-7140）にて必要事項をお書き添えの上、たくさんのご応募お待ちしています。

皆様からお寄せいただいたお便り・感想等は広報誌上に掲載させて頂く場合がございます。ご了承下さい。

切手
〒644-0011
御坊市湯川町財部668－1
ＪＡ紀州
くらしの活動課　行

①クイズの答え
②郵便番号・住所
③氏名
④電話番号
⑤お便り・感想

正解者の中から抽選で５名の方に、
tomato・ume プレゼント！

●締切
3月31日（火）消印有効
当選者の発表は、発送をもって代えさせて頂きます。

●先月号の答えは「シロザケ」でした

魚座 2/19〜3/20
【全体運】落ち着きのある１カ月です。やるべき作業を早めに済ませ、自分の時間を満喫して。グルメを楽しむのもグッド
【健康運】口コミ情報をチェック。耳寄りな話あり　【幸運を呼ぶ食べ物】コゴミ

4月のあなたの運勢★モナ・カサンドラ

読者の広場

我が家のアイドル!!

由良町里　尾崎　一智(いち)くん(9才)
壬煌(あさ)くん(7才)
颯代(かのあ)ちゃん(5才)
真孝(おと)くん(3才)
心睦(りっ)くん(1才)
ご両親　尾崎　孝明さん
ご両親　尾崎　佳代さん

一智くんと壬煌くんは柔道を習っており、練習に頑張っています。颯代ちゃんはお絵かきをするのが得意で、真孝くんは車のおもちゃで遊ぶのが好きです。心睦くんは最近、ひとりで歩けるようになりました。お兄ちゃん達は、心睦くんの面倒をよく見てくれるそうです。

ご両親からのメッセージ　これからも５人仲良く成長してほしいです。

表紙紹介

日高川町船津　西山　桃羽(ももは)ちゃん(9才)、斗翔(とわ)くん(3才)

桃羽ちゃんはおしゃれをすることが大好きで、可愛い服やくつを見ると、とても嬉しそうです。最近は、半年ほど前から習い始めた英語を頑張っています。斗翔くんは人懐っこく、おもしろいことをしたりして家族を楽しませてくれます。最近は料理に興味があるようで、ままごとをしたり、お手伝いをしてくれるそうです。

ご両親からのメッセージ：ケンカをしながらもいつも仲良しな２人。そんな２人を見ると毎日がとても楽しいです。これからも仲良くね。暖かくなったらどこかへおでかけしようね。

編集後記

「梅の秘めたパワー」

なだらかな丘陵地を登ること 20 分、梅林公園から眺める南部梅林はまさしく「一目百万、香り十里」。久しぶりに仕事感覚抜きで、遠くに見える太平洋をバックに壮大な景色と、一輪の上品な白い花にとまるミツバチの姿に時を忘れた。

梅の花言葉には「高潔」「上品」「忍耐」「忠実」などがある。今年の冬は当初の長期予報とはかけ離れ、日本列島は度重なる寒波が襲来し厳しい寒さが続いた。まさに今年の梅の花は厳しい寒さを耐え高潔、上品な美しさを醸しだしていた。

梅は時代とともに日本人に愛されている。梅は「食べる」「観る」「香る」楽しみがある一方、人の心、精神にも深く根付いている。日本最古の和歌集の万葉集で最も詠まれた萩の花に次ぐ約 120 首が詠まれている。

また、仏教の禅語に「一点梅花の蕊（ずい） 三千世界香し」がある。「人もまた艱難辛苦を経てこそ香り放つ、逆境に向かい成長していく」という禅宗の教えが隠されている。

さらに心・精神ばかりではなく、梅の果実は健康機能食品として科学的に認められている。１つは、胃に障害を及ぼす菌の運動能力を阻害する物質が含まれている。２つめは血糖値の上昇、肥満等に関連づけられる酵素の働きを阻害する物質が含まれていることだ。

梅には、心を癒す・精神を強くする・健康に良い、という３つの秘められたパワーがある。「和食」が無形文化遺産に登録され、日本の食文化が世界各国で脚光を浴びている。「みなべ・田辺の梅システム」が世界農業遺産に登録されれば地域の梅産業、観光事業に留まらず地域再生の起爆剤となるのではないか。

JA紀州
発行：紀州農業協同組合
編集：総務部くらしの活動課

〒644-0011 御坊市湯川町財部668-1
TEL：0738-22-0604 FAX：0738-32-7140
メールアドレス：kurashinokatudou@kisyu.jawink.ne.jp
HPアドレス：http://ja-kisyuu.or.jp

皮まで食べきる！

はっさくピール（砂糖漬け）

はっさくが旬を迎えます！一度にたくさんむいて、タッパーに入れて冷蔵庫で保管しておけばいつでも楽しめます♪（早めに食べ切りましょう）
ヨーグルトとハチミツをかけたり、サラダに入れても良いですね。

ひだか北部販売課
平山　淳子さん　中本　智美さん

皮で作るピールはほろ苦さがクセになります！そのまま食べても、チョコレートをコーティングして食べても美味しいですよ。刻んでパン生地やクッキーに混ぜて焼くと爽やかな風味に♪

＊材料＊

はっさくの皮	3個分（400gくらい）
砂糖	200～400g
（目安は皮と同量くらいまで、お好みで加減して下さい）	
グラニュー糖（まぶす用）	適量
水	皮がヒタヒタにかぶるくらい

＊はっさくのむき方＊

皮むき器「ムッキーちゃん」を使って、楽しく簡単に！
さわやか日高で販売しています。

※使い終わった「ムッキーちゃん」はしっかり洗って下さい。
※刃がついていますので取扱いには十分注意し、お子様の手の届かないところで保管して下さい。

1 白い方をはっさくに押し当てて、スライドさせる。4～8か所ほど切り込みを入れる。

2 ぐっと親指を入れて、皮をむく。白い筋も取る。

3 房をわけて、みかん色の方に一房セットする。刃のついていないほうからスライドさせる。

4 切れたところからむく。

＊作り方＊

1 はっさくの皮を水を張ったボールに入れ、一晩おいておく。皮が浮いてくる場合は皿などでフタをする。

2 皮の内側の白いワタをスプーンなどでそぎ取る。

3 水（分量外）をたっぷり入れた鍋に2を入れ、沸騰して5～10分ほど煮立たせた後、お湯を捨てる。これを2度繰り返す。

4 皮を好きな大きさに切り、鍋に入れ、水、砂糖を入れる。

5 皮が透き通るくらいまでじっくり煮る。水分がなくなるまで煮詰めるが、焦がさないように気を付ける。

6 バットに出し、あら熱が取れたらグラニュー糖をまぶして、半日～1日ほど水分を飛ばすために広げて置いておく。出来上がったらビンなどに入れて、冷蔵庫で保管する。

VEGETABLE OIL INK この広報誌は、環境にやさしい再生紙と一部植物油インクを使用しています。